

第596回 新潟放送番組審議会 議事録

審議番組

テレビ番組

「芸の華咲かせましょ～佐渡びと絵巻～」



平成 26 年 4 月 23 日

BSN新潟放送

第596回新潟放送番組審議会

1. 開催日時 平成26年4月23日(水) 午前11:00～

2. 開催場所 新潟放送本社 6F会議室

3. 委員の出席

○委員側出席者(敬称略・順不同)

委員長	松川公敏	副委員長	相羽利子
委員	佐々木広介	委員	正道かほる
委員	古賀豊	委員	小島良子
委員	佐藤元	委員	佐藤明(新任)

○委員側欠席者

委員	高井盛雄	委員	行形貴子
----	------	----	------

○放送事業者側出席者

社長	竹石松次	専務	梅津雅之
常務	水田義雄	報道制作局長	五十嵐幹史
ラジオセンター長	鍵富徹		
		〈説明員〉報道制作局情報センター専門局長	
		プロデューサー	南加乃子

○放送事業者側欠席者

営業局長 斉藤和利

事務局

事務局長	小原弘志	(社長室長)
事務局員	増山由美子	(考査広報部長)

4. 議題
- 1、諮問 「青少年に見てもらいたい番組」変更について
 - 2、報告事項 「放送番組の種別と種別ごとの放送時間」報告
「5月の新番組・単発番組」報告
 - 3、審議番組
テレビ番組 「芸の華咲かせましょ～佐渡びと絵巻～」
放送日時 3月22日(土) 10:30～11:25

5. 議事の概要

はじめに「青少年に見てもらいたい番組」の変更について、竹石社長が番組審議会に諮問した。水田編成局長が変更の内容を説明し、委員による審議を経て承認された。

次に、編成局長より「放送番組の種別と放送時間・CM放送時間（10月～3月）を報告。各局長からの5月度番組報告に続いて、4月の審議番組「芸の華咲かせましょ～佐渡びと絵巻～」について、審議が行われた。

～番組審議委員の主な意見・質問～

- 佐渡が芸能の島であることが伝わってきた。
- 81歳の座長が、かくしゃくと楽しそうに後輩に指導している姿を見て、世代を超えて伝承することの素晴らしさを感じた。
- 一年かけて取材した労作で見ごたえがあった。構成のバランスもよかった。
- 佐渡びとたちの努力や情熱はよく伝えていたが、実際の文弥人形など芸能の映像が少なかったことが残念。芸そのものの魅力を伝えなければ、それを伝承することの大切さが伝わらないのではないか。
- こうした芸能や祭りを通じて地域がひとつになる。地域のコミュニティ作りになるのだと実感した。
- 佐渡は文化のプラットホームのようなところだと感動した。
- 若き能役者・日野真木さんの芸に取り組む姿、17歳とは思えない言動にとっても興味が湧いた。もっといろいろなことを聞いてみたいと思った。
- 文弥人形だけに絞って制作してもよかったのではないか。そのほうが奥深い内容になったと思う。一年間密着して取材したのだからもったいない。
- 佐渡から撮った新潟市や角田山の映像が新鮮だった。新潟市側から見た佐渡の映像ではなく「佐渡から撮った」というところに、佐渡びとの視点に立っている制作者の熱意が感じられた。
- 伝統芸能の後継者が少なくなっている中、継承ということを柱にした作りを評価したい。

～制作担当・南プロデューサーから～

貴重なご意見をいただきありがとうございました。

- 「佐渡小判」「天然杉」と佐渡の魅力を紹介してきた佐渡シリーズの第3弾。今回は佐渡の郷土芸能に注目、文弥人形・能・やわらぎ 春駒を取り上げた。
- 芸能の島と言われる佐渡で、伝統芸能を受け継いでいく佐渡びとの生き生きとした姿を紹介したいと思い制作した。
- 能の日野真木さんは、佐渡の期待を背負う能役者。弟と一緒に初舞台という一度きりのチャンスを、どうしても取材したかった。その様子を伝えられてよかった。
- 今後、文弥人形に絞った1時間番組の制作を企画している。さらに掘り下げた内容にしたい。